

「没後10年 辻邦生展 豊饒なロマンの世界」

学習院大学で教鞭を執るようになったのとちょうど同じ頃、辻邦生は福永武彦を訪問したことがきっかけで、夏の多くの時間を軽井沢で過ごすようになります。やがて、磯崎新^{いそざきあらた}の設計でオリジナリティ溢れる自分自身の山荘を建て、その書斎から数多くの作品を生み出す一方、北杜夫、中村真一郎、福永武彦をはじめとする人々との交友を愉oshimしました。

軽井沢を愛した辻は、1999年7月29日、この地で急逝します。没後10年を記念した本展覧会では、このゆかり深い軽井沢との関わりに焦点をあて、辻の人柄と作品とを紹介しています。



会 期:2009年7月18日(土)～11月3日(火) 9時～17時

会 場:軽井沢高原文庫

長野県北佐久郡軽井沢町塩沢湖202-3

TEL.0267-45-1175

<http://www.karuizawataliesin.com>

入館料:大人(高校生以上) 700円/小人(小・中学生) 300円

主 催:軽井沢高原文庫

協 力:学習院大学史料館

「作家 辻邦生を知っていますか
—美しい日本語で読む目白—」

繊細な筆致で、日本語を操った辻邦生。格調高い文章を綴る作家として、その作品は、今もなお、多くの教科書・教材に取り上げられています。

学習院大学で長年教員を務めていた辻は、その作品の中に、目白や学習院大学のキャンパスをたびたび登場させています。

本展示では、彼が描いた目白の街とキャンパスの情景を、四季折々の写真と交差させることで、立体的に再現しました。

見慣れた風景が、作家の眼を通して窺変するさまを、ぜひご享受下さい。

会 期:2009年6月24日(水)～8月6日(木) 9時～20時

会 場:としまふれあい交流サロン

東京都豊島区東池袋1-20-10 豊島区民センター 2階

入場料:無料

主 催:学習院大学史料館

協 力:財団法人
としま未来文化財団



ミュージアム・レター第10号

2009年7月17日発行

〒171-8588

東京都豊島区目白1-5-1

電話 03 (3986) 0221

内線 6569

FAX 03 (5992) 9219

Gakushuin University Museum of History

学習院大学史料館

● ホームページもご覧ください

<http://www.gakushuin.ac.jp/univ/ua>